

原料費調整制度に基づく2024年3月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2024年3月検針分の単位料金を調整した結果、2024年2月検針分と比べ、1m³(45MJ)につき4.19円(消費税込)上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2024年2月検針分と比較して、125円(消費税込)ガス料金が上がります。

なお、2024年3月検針分は、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」にて支援される補助金^{*1}により、15円/m³の値引きを行っております。

補助金適用前との比較では、450円(消費税込)ガス料金が引き下げられています。

2024年3月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

^{*1} 2023年9月検針分までは30円/m³の値引き単価、2023年10月検針分からは15円/m³の値引き単価となります。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA~Fの各料金が適用されます。

| (消費税込) | | | | | | |
|---|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1ヵ月のご使用量 | 料金表A 0~20m ³ | 料金表B 21~80m ³ | 料金表C 81~200m ³ | 料金表D 201~500m ³ | 料金表E 501~800m ³ | 料金表F 801m ³ ~ |
| 基本料金 (円/月) | 759.00 | 1,056.00 | 1,232.00 | 1,892.00 | 6,292.00 | 12,452.00 |
| 調整単位料金 (円/m ³) (参考) | 164.61 | 149.76 | 147.56 | 144.26 | 135.46 | 127.76 |
| 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³) (参考) | 179.61 | 164.76 | 162.56 | 159.26 | 150.46 | 142.76 |
| 2月 調整単位料金 | 160.42 | 145.57 | 143.37 | 140.07 | 131.27 | 123.57 |

2. 標準家庭における影響

| (消費税込) | | | | 【参考】補助金適用前 | |
|---|-----------------------|-----------------------|-----|-----------------|---------------|
| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 2024年2月 ^{*2} | 2024年3月 ^{*2} | 増減 | 2024年3月 適用料金 | 補助金適用 前後の差 |
| 適用料金(円/月) | 5,423 | 5,548 | 125 | 5,998 | 450 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度~2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

^{*2} 補助金適用により、15円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 2023年9月～2023年11月 の平均 (2月検針分) | 2023年10月～2023年12月 の平均 (3月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 91,060 | 95,810 | 4,750 |
| LNG | 90,700 | 95,660 | 4,960 |
| LPG | 93,100 | 94,060 | 960 |
| 基準平均原料価格(b) | 57,250 | | |
| 差額(a-b) | 33,800 | 38,500 | 4,700 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 95,660 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 94,060 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

95,811.79

↓(10円未満四捨五入)

95,810 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$95,810 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = 38,560 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

38,500 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\text{単位料金調整額} = 38,500 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0891^{*3}$$

(補助金適用前)

$$= 34.30 \text{ 円}^{*4}$$

*3 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\text{単位料金調整額} = 34.30 \text{ 円} - 15 \text{ 円} = 19.30 \text{ 円}$$

(補助金適用後)

5. 標準家庭料金の算定方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,056.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(130.46円)} + 19.30 \text{ 円} \times 30 \text{m}^3 \\ &\text{料金改定時の基準単位料金(税込)↑} \quad \text{↑単位料金調整額(税込)} \\ &= 5,548 \text{ 円} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が156,200円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は156,200円としてガス料金の調整を行います。